

SGI® InfiniteStorage 4500

特長

- ・ 接続性の向上
- ・ ネットワークの簡素化
- ・ 拡張性と万能性
- ・ 高可用性
- ・ ストレージ管理の統合
- ・ RoHS指令対応



SGI® InfiniteStorage 4500は、SGIのストレージ・システム製品ラインの主力商品です。今日のデータセンターは、ストレージ管理経費の削減や設置スペースの確保、高いパフォーマンスを必要とする業務アプリケーションの要件の変化など、さまざまな課題を抱えています。SGI InfiniteStorage 4500は、究極レベルのパフォーマンス、キャパシティ、スケーラビリティを提供し、このような課題に対処できるように設計されています。

接続性の向上

人工衛星からの情報の受信、画像処理、動的流体モデリング、複雑な双方向システムのモデリングなどのアプリケーションは、まさに最高レベルのバンド幅を必要とします。このようなバンド幅の確保に、これまででは多重化された複数の2Gb（ギガビット）ファイバチャネル・ストリームを使用することが一般的でした。そして今、単一の4Gbファイバチャネル接続により高バンド幅を達成できるようになりました。SGI InfiniteStorage 4500の各4Gbホストチャネルは、最大400MB（メガバイト）/秒のピーク・バンド幅を提供し、アプリケーション要件に必要なチャネル、アダプタ、およびスイッチ数を減らすことを可能にしています。また、8つのホストチャネルのすべてからInfiniteStorage 4500キャッシュシステムにアクセス可能なため、アプリケーションに複数の高性能アクセスポイントを提供します。これにより、電子メールやデータベースのようなインタラクティブなアプリケーションで応答時間の最小化が実現されます。

ネットワークの簡素化

InfiniBandは、大規模なLinux®サーバ・クラスタに最適なコスト効果の高いクラスタリング技術として認められています。従来、IB（InfiniBand）ベースのクラスタとFC（ファイバチャネル）ベースのストレージ・システムを接続するには、IB-FCゲートウェイが使用されてきました。しかし、このゲートウェイではプロトコル変換以外の処理は行われず、コストがかかるうえに非効率的です。SGI InfiniteStorage 4500ストレージ・システムが装備するネイティブInfiniBandインタフェースは、クラスタが使用する既存のInfiniBandファブリック・スイッチと直接接続することが可能で、大幅なコスト節約とネットワークの簡素化を実現します。さらに、コントローラ内でのIB-FCプロトコル変換が不要なため、パフォーマンスの向上とレイテンシの低下を可能にします。

拡張性と万能性

SGI InfiniteStorage 4500は、シングルシステムで500GB SATAドライブ搭載時に最大112TB（テラバイト）までサポート可能なため、ユーザは大多数のITインフラで問題となっているデータの増加に効率的に対処することができます。ハイパフォーマンスなファイバチャネル、汎用ファイバチャネル、および大容量のSATA IIディスク・ドライブを組み合わせてカスタム構成を行うことで、パフォーマンス、コスト、およびキャパシティにおける特定の要件に対応できます。また、革新的な高密度ドライブ・パッケージは、ファイバチャネルドライブ・モジュールとSATAドライブ・モジュールをほぼ自由に混在させることができます。

高可用性

24時間365日体制の継続処理を実現するには、最高レベルの可用性を持つストレージ・システムが必要となります。完全冗長のI/Oパス、自動フェイルオーバー、ホットスワップ対応コンポーネント、およびオンライン管理を特長とするSGI InfiniteStorage 4500は、クリティカルなデータへのアクセスを常時可能にします。また、不測の事態に備えて、ビジネス継続性のための機能スイートを提供し、運用上および災害時のデータ復旧ストラテジをサポートしています。

ストレージ管理の統合

ストレージ環境のキャパシティと性能の増大を考慮し、SGI InfiniteStorage 4500には、管理タスクを劇的に簡素化する管理ソフトウェアが装備されています。パワフルでしかも操作の容易な管理ソフトウェアにより、ホストまたはクライアントのプラットフォームにかかわらずネットワーク上のどこからでも、複数ストレージ・システムを集中管理できます。SGI InfiniteStorage 4500の管理ソフトウェアは、柔軟な構成、アップタイムおよびデータ可用性の確保を実現し、ユーザがビジネスの目標に見合ったストレージ・ストラテジを推進できるようにします。



SGI® InfiniteStorage 4500

コントローラ ・RAIDコントローラ ・キャッシュ・サイズ ・ホスト・インタフェース ・ホスト・バス ・パーティション	4500 "F"モデル デュアル、アクティブ 2、8、16 GB 4Gbファイバチャネル	4500 "H"モデル デュアル、アクティブ 2 GB 4Gbファイバチャネル またはInfiniBand	環境(動作時) 温度 ・10°C～45°C 相対湿度 ・20%～80%(ただし結露しないこと) 温度変化 ・10°C/時 標高 ・最低:-30.5m ・最高:3,048m	
ソフトウェア機能(オプション) ・追加パーティション ・スナップコピー ・ボリュームコピー ・リモート・ボリュームミラーリング ・SATA/FCドライブの併用	4、16、64 サポート サポート サポート サポート	4、16 — — —	管理ソフトウェア Total Performance Storage System Manager(TPSSM) ・インバンド管理:SGI IRIX®, SLES 9, SLES 10 ・アウトバンド管理:SGI IRIX®, SLES 9, SLES 10 サポートするその他のシステム ・インバンド管理:AIX、HP-UX、32ビットLinux®, Netware®, Windows® ・アウトバンド管理:Windows®, 32ビットLinux® ソフトウェア機能 ・パフォーマンス・モニタ ・簡易なファームウェアのアップグレード ・管理領域内のすべてのTotal Performance 9000シリーズおよびInfiniteStorage 4000シリーズシステムを表示可能な包括的ビューを提供する管理ウィンドウ	
コントローラ機能 ・RAIDレベル ・バックアップ・バッテリー ・最大LUN数 ・ボリューム・グループ ・グローバルホットスベア・ドライブ ・ラックのサポート ・標準冗長機能 ・コントローラ管理 ・診断インタフェース	0、1、1+0、3、5 最大7日間 パーティションあたり256、システムあたり1024 RAID 5グループの場合最大30ドライブ(29+1) 最大15ドライブ SGIオプションのラックおよび業界標準19インチラック(マウント・キット同梱) RAIDコントローラ、電源装置、冷却ファン、FCドライブ・ループ インバンドと2つのイーサネット・ポートによるアウトバンド RS-232ポートx 2		ホストソフトウェア XFS® ・SGI IRIX、Linuxシステム対応のハイパフォーマンス64ビット・ジャーナルファイルシステム XVM® ・SGIシステム対応ボリューム・マネージャ。仮想化テクノロジーにより論理データ構造を構築し、ハイパフォーマンスと容易な管理を実現	
ドライブ・エンクロージャ接続 ・4Gbファイバチャネル・ループx 2、冗長 ・メディアとの送受信における総ピーク・バンド幅 800 MB/秒(両方のモデルで同一)			ホストソフトウェア(オプション) XFS Plex® ・ディスクミラーリングソフトウェア CXFS® ・ヘテロジニアスなSAN対応共有ファイルシステム。同一バージョンのコンテンツを複数ユーザがファイバチャネル速度で共有することを可能にし、データ複製の必要性をネットワーク中で排除 DMF ・データ・ライフサイクル管理(アーカイブ)ポリシー自動化ソフトウェア。ストレージ・デバイスを仮想化し、仮想ストレージ・プール中のスタジオ・コンテンツのマイグレーションとアーカイブをビジネス・ポリシーに従って自動化 HACM ・2つ以上のシステムをクラスタ化し、アプリケーションの高可用性を実現 SGI InfiniteStorage高可用性クラスタリング・ソフトウェア(HA Cluster Manager for Linux)がフェイルオーバーを実行	
エンクロージャ寸法	ドライブ・エンクロージャ ・高さ 12.9cm、3U ・幅 44.7cm ・奥行 56.1cm ・重量 38.6kg(16ドライブ搭載時)	コントローラ・エンクロージャ ・高さ 17.5cm、4U ・幅 44.5cm ・奥行 61cm ・重量 36.5kg(ドライブ搭載不可)		
ラック寸法	40U ・高さ 198.1 cm ・幅 60.9cm ・奥行 101.6cm ・重量 139.2 kg(ドライブ未載時)		最大消費電力	
ドライブ・オプション ・73 GB 15K rpm、FC ・146 GB 10K および 15K rpm、FC ・300 GB 10K及び15K rpm、FC ・400 GB 10K rpm、FC ・450 GB 15K rpm、FC ・500 GB 7,200 rpm、SATA ・750 GB 7,200 rpm、SATA ・1 TB 7,200 rpm、SATA ・エンクロージャあたりドライブ数:最小4、最大16 ・システムあたりドライブ数:最小4、最大224			電源(40Uラック) ・200-240 VAC、50～60 Hz ・NEMA L6 30(米国)、IEC 309(国際) ・PDUあたり最大48A@ 200-240 VAC	
			品質規格 ・ISO9000準拠の工程による製造 ・RoHS指令準拠	省エネ法に基づく表示 ・エネルギー消費効率 0.0264 ・区分 i

©2008 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 仕様は予告なしに変更される場合があります。Silicon Graphics、SGI、SGI のロゴマーク、IRIX、CXFS、およびSGIのキューブは日本SGI株式会社の登録商標です。XFSはSilicon Graphics, Inc.の登録商標です。The Source of Innovation and Discoveryは米Silicon Graphics, Inc.の商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。LinuxはLinus Torvalds氏の登録商標です。このデータシートの中であげられたその他の商標については商標の所有者に所有権が属しています。(02/2009)

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

TEL:0120-161-086 FAX:0120-161-087 <http://www.sgi.co.jp>

本社	TEL:03-5488-1811(大代表)	FAX:03-5420-7201
西日本支社	TEL:06-6343-6700(代表)	FAX:06-6343-6713
中部支社	TEL:0565-35-2561(代表)	FAX:0565-35-2189
つくば・東北事業所	TEL:029-858-1551(代表)	FAX:029-858-1071
東北営業所	TEL:022-221-2301(代表)	FAX:022-221-2304
北海道営業所	TEL:011-708-1511(代表)	FAX:011-758-2789
テクニカルサポートセンター	TEL:045-682-3700(代表)	FAX:045-682-0856



日本SGIは地球環境に優しい企業を目指しています

このカタログは、環境に配慮した植林木を使用しております。
 日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や燃料等の資源消費量やCO2排出量の低減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。